

印西大師 第63番 白幡・吉祥院

1 名称 (No.063)〔手引鏡：吉祥寺〕〔資料館：吉祥院〕〔行程表：吉祥院〕

2 場所 印西市白幡45 吉祥院

浦部・観音寺から道程約2010m

GPS座標 35.820172252431874, 140.10301263704818

3 由緒 天台宗

下井戸42にあり天台宗で弥陀三尊を本尊とする、現青年館敷地。(平成6年寺院堂庵明細表)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。台座に天保元年(1830年)の銘あり(印西町調査報告書(追録))。

5 境内 大師堂のまわりは墓地のほか、吉祥院兼集会所と思われる建物がある。

6 写真 (2019.09、230.01撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



御大師様



吉祥院兼集会所



吉祥院兼集会所の入口

7 情報

(1) 印西大師 第63番 吉祥寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

身の内の悪しき誹謗(悲報を)打(うち)捨(すて)て 皆吉祥を望み祈れよ

四国八十八ヶ所 第63番 真言宗東寺派 密教山(みっきょうざん) 胎蔵院 吉祥寺(きちじょうじ) 写

(2) 月影の井と竜崖城

鎌倉の星の井、奥州二本松の日の井とともに、天下の三名水とうたわれた月影の井である。竜崖城主大菅豊後守正氏がこの水で初湯を使ったとも行水をしたともいわれている。(中略) 大菅氏は千葉氏の一族で、妙見菩薩を氏神として祀った。妙見菩薩は千葉氏の守本尊で武の仏である。竜崖城址は、月影の井の西方三百メートルの台地上にあり、竜間、大手門、根古屋、空堀と思われる跡が残っている。(印西町文化研究会「郷土の文化財」)